

令和4年度物部川地域アクションプランの 削除、修正（予定項目）

物 部 川 地 域 本 部

令和4年2月8日（火）

令和4年度地域アクションプランの追加・削除等（予定項目）

地域アクションプランへの支援の方向性

新規事業の掘り起こしと担い手の育成、事業が抱える課題の解決を図りながら、地域アクションプランの実現に向けて、産業振興推進地域本部を中心に取り組みを推進していく。

(1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成

- ①発掘支援型アドバイザーと連携して、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし
- ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成

(2) 課題解決に向けた支援

- ①課題解決型アドバイザーと連携して、個別課題の解決を支援
- ②課題一貫支援型アドバイザーと連携して、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援

地域アクションプランの増減（▲4）

(1) 追加（新規）： 2件

- 須崎市養殖漁業等のさらなる振興（須崎市）
- 浦ノ内マリパークにおける交流人口の拡大による地域の活性化（須崎市）

(2) 削除（廃止）：▲5件

- 南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大（南国市）
- JA出資型法人（株れいほく未来）を核とする地域活性化の取り組み（土佐町）
- 四万十川源流等中山間資源活用ビジネスの創出（中土佐町）
- 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化（須崎市）
- 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備（須崎市）

(3) 追加（分割）： 0件

(4) 削除（統合）：▲1件

- 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進（中土佐町）
- 中土佐町の「うまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト（中土佐町）
→「中土佐町地域ブランドの創出と販売」として統合

地域アクションプラン数 R3年度 224件 → R4年度 220件（▲4）

	R3年度 (第4期Ver.2)	R4年度 (第4期Ver.3)				A P 数
	A P 数 R3.9月時点	増減				
		追加	削除	統合・分割	計	
安芸	30					30
物部川	26		▲1		▲1	25
高知市	23					23
嶺北	25		▲1		▲1	24
仁淀川	34					34
高幡	42	2	▲3	(2→1) ▲1	▲2	40
幡多	44					44
合計	224	2	▲5	▲1	▲4	220

○地域産業クラスタープロジェクト R3年度 19件 → R4年度 18件（▲1）

物部川地域アクションプラン項目（第4期計画Ver. 2（R3年度））

No.	現在(令和3年度)	南国市	香南市	香美市	
		12	10	10	
1	日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト		●	●	
2	南国市農業生産拡大プロジェクト	●			
3	南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化	●			
4	香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策			●	
5	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●			
6	南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大	●			削除
7	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●			
8	ヤギミルク等の生産体制強化及び流通促進事業	●			
9	物部川地域の民有林における原木の増産	●	●	●	
10	シイラ等の水産物加工による外商の拡大		●		
11	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進	●	●		
12	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●			
13	ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進		●		
14	香南市における特産品づくりと販売の促進		●		
15	野市町中心商店街の振興		●		
16	香美市における特産品づくりと販売の促進			●	
17	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●	
18	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●	
19	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●	
20	物部川地域における広域観光の推進	●	●	●	
21	南国市の地域資源を活用した観光の推進	●			
22	南国市の観光農園による観光の推進及び販売の促進	●			
23	香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進		●		
24	三宝山エリアを核とする観光拠点化の推進		●		
25	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●	
26	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●	

と第4期計画Ver. 3（R4年度）の対比表）

【物部川地域】

南国市	香南市	香美市	No.	改定案(令和4年度)
11	10	10		
	●	●	1	日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト
●			2	南国市農業生産拡大プロジェクト
●			3	南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化
		●	4	香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策
●			5	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上
●			6	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み
●			7	ヤギミルク等の生産体制強化及び流通促進事業
●	●	●	8	物部川地域の民有林における原木の増産
	●		9	シイラ等の水産物加工による外商の拡大
●	●		10	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進
●			11	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化
	●		12	ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進
	●		13	香南市における特産品づくりと販売の促進
	●		14	野市町中心商店街の振興
		●	15	香美市における特産品づくりと販売の促進
		●	16	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興
		●	17	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化
		●	18	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売
●	●	●	19	物部川地域における広域観光の推進
●			20	南国市の地域資源を活用した観光の推進
●			21	南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進
	●		22	香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進
	●		23	三宝山エリアを核とする観光拠点化の推進
		●	24	香美市における滞在型・体験型観光の推進
		●	25	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進

物部川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

なし

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No.6 南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大（南国市） 【実施主体】㈱ナイフアンドフォークカンパニー（農園レストラン トリトン）	新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上高は目標には達していないものの、コロナ禍前までは年々増加傾向で推移しており、また食材の地産地消率（県内）も目標を達成し続けている。 現在、実施主体としては十分な感染症対策を講じたうえで売上の回復を図っている。また、今後も引き続き地域食材を積極的に活用していく方向が定着していることから、自立プランに位置づける。

■その他（拡充、統合、分割）

なし

削除項目（案）

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.6 南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大 (南国市)		
実施主体	◎(株)ナイフアンドフォークカンパニー（農園レストラン トリトン）		
AP への 位置づけ	H26. 4月		
事業概要	地域の農家所得の向上を図るため、地元食材をフル活用したオリジナル料理を堪能できるレストランとベーカリーを運営し、地元食材の消費を拡大するとともに新たな魅力を発信する。		

指標	出発点	実績		目標
		R 元	R2	R5
(1) 売上高※	1 億 7,357 万円 (R 元)	同左	1 億 3,086 万円 (対前年度比 75.4%)	2 億 50 万円
(2) 食材の地産地消率 (県内)※	85% (R 元)	同左	85% (対前年度比±0%)	85%

※10～9月までの実績値

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランとベーカリーの整備、オープン（H27） ⇒H26 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用（事業費 1 億 2,390 万円） ・庭園に龍馬像を設置（H29.3 月） ・庭園にロンドンバスを設置（H29） ・庭園に遊具（すべり台 3 台）設置（H30） <p>◆レストランとベーカリーの運営及び情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市内の生産者（(株)南国スタイル等）からの食材仕入(H27～） ・地元食材を使ったメニュー開発・提供（随時） ・ロンドンバスを活用したイベントの開催（H30～随時） ・おびさんマルシェへの出店（H30～随時） ・各種広報媒体への掲載（随時） <p><主な成果></p> <p>◆地域食材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材の地産地消率のうち、南国市産の割合： 33.1%（R 元.10 月～R2.9 月） ・米、野菜、ヤギミルク、牛乳をはじめとした南国市産食材を使ったメニューの提供（H27～） 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元食材を活用した新メニューの開発 ・安定した顧客の獲得 ・生産者との連携強化による南国市産食材のさらなる利用

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆レストランとベーカリーの運営及び情報発信	<p>地元食材を活用したメニューの開発、提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)ナイフアンドフォークカンパニー： 地元食材を活用した日替わりメニューの開発、提供 月替わりで地元食材を中心とした季節の農産物等を使ったパンの販売 ●県（地域本部等）： 新メニューや新商品の開発を促進するため、必要に応じて関係機関、生産者、生産者団体への橋渡し 				
	<p>メディア等によるPR活動、来客数増加のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)ナイフアンドフォークカンパニー： 来客増につなげるため、引き続き自社媒体や、旅雑誌、ローカル誌への情報提供、売り込み 				

修正項目（案）

修正前

物部川地域アクションプラン

分野

農業

AP 名 (実施地域)	No. 1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連
実施主体	◎JA 高知県（香美地区）、◎JA 高知県（香美地区ニラ部会）、◎（一社）香南市観光協会、◎（一社）香美市観光協会、香南市、香美市、シミス・アグリプラス(株)
AP への 位置づけ	H21.4 月
事業概要	日本一の生産量を誇る JA 高知県香美地区のニラ生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化や加工業務需要への対応強化、新たな企業の誘致、地元飲食店での新メニュー開発、機能性の検証等を行い、ニラの消費拡大につなげ産地強化への取り組みを進める。

指標	出発点	実績		目標
		R 元	R2	R5
(1) ニラ販売額 (JA 入金額)※	23.3 億円 (R 元)	同左	23.6 億円 (対前年度比 101.3%)	29.7 億円
(2) ニラメニューの売上高	81.8 万円 (H30)	84.2 万円		170 万円

※園芸年度：8～7 月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸用ハウス整備（H28～） ・グリーンカレッジ(新規就農者勉強会)の開催(H28～) ・新規就農者育成支援（H28～） ・そぐりセンター整備計画策定、そぐり機の新規導入(R 元) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳（H28～） ・出荷場 GAP 点検実施（H28～） ・地元小学校での出前授業・栽培体験（野市小学校、佐古小学校）（H29～30） ・集出荷場再編整備計画の検討（R2） <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでのニラ料理の出店(香南市、H30：12 回) ・「香南カーニバル」でのニラメニューの提供（H29、H30） ・物部川地域情報紙「こじゃんと」へのニラメニュー及び提供店舗の紹介記事の掲載（R 元：3 回） ・ニラレシピカードを作成し、道の駅等で配布（R2） 	<p><主な成果></p> <p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書の策定・提示：2 提案(香南市・香美市) ・ニラ農家の新規就農者：9 名（H28～31） ・指導農業士の推薦：1 名（R2） ・そぐりセンターの稼働に伴う新規雇用 14 人（R2.4～） <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な農産物生産への生産者の意識向上 ⇒「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳:全戸、出荷場 GAP 点検実施 <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市イベント(香南カーニバル等)へのニラ料理出店による市内認知度の向上 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量・品質の向上及び省力化技術等の導入拡大 ・生産規模の拡大、担い手の確保育成 ・出荷調製作業等の労働力確保 ・ハウスや集出荷場等施設の高度化 ・香南市、香美市が連携したニラ認知度の向上及び消費拡大施策の実施（観光協会との連携） ・ニラを核とした町おこしプランの策定（プレーヤー不在）

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆生産上の対策	生産拡大対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区ニラ部会）： <ul style="list-style-type: none"> 環境制御技術の導入拡大や基本的栽培管理技術の徹底等による収量・品質の向上 園芸ハウス整備事業等を活用した規模拡大 そぐり機の活用等による省力化 担い手の確保と育成のための新規就農者受入れ体制の整備・強化と就農支援 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 省力化技術の普及啓発、増収・品質向上技術の検討と導入支援 農地の流動化やハウス整備への支援 新規就農者の確保・研修・経営開始への支援と体制強化 部会活動活性化への助言等 				
◆流通、販売上の対策	そぐりセンターの効率的稼働、新規増設計画検討				
	<ul style="list-style-type: none"> ●シミズ・アグリプラス(株)：そぐりセンターの運営 ●JA 高知県（香美地区）：そぐりセンターの運営への協力・支援、そぐりセンター増設の検討 ●県（中央東農業振興センター等）：そぐりセンターへの支援（稼働計画策定、増設検討） 				
◆消費拡大、認知度向上の対策	集出荷作業効率化に向けた集出荷場の高度化再編整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の高度化計画の策定と整備 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 整備計画の策定と補助事業への支援 		高度な集出荷体制の確立		
◆消費拡大、認知度向上の対策	香南市、香美市が連携した、ニラを核とするまちおこしプランの検討・策定・具体的な取り組みの実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市、香美市（観光協会）： <ul style="list-style-type: none"> 地元飲食店等との連携によるメニューの拡大や新たな加工品の開発及び既存加工品の販売拡大、地元飲食店等との連携によるニラを活用した地域イベントの充実 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 新たな需要拡大のための支援策の情報提供 				
<p>【用語】・そぐりセンター：ニラの収穫後、出荷のために実施する、そぐり（不要な外葉の除去）や計量、結束の調製作業を生産者から受託する施設</p>					

AP名 (実施地域)	No.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連
実施主体	◎JA高知県(香美地区)、◎JA高知県(香美地区ニラ部会)、◎(一社)香南市観光協会、◎(一社)香美市観光協会、香南市、香美市、シミス・アグリプラス(株)
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラ生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化や加工業務需要への対応強化、 <u>民間企業との協働</u> 、地元飲食店での新メニュー開発、機能性の検証等を行い、ニラの消費拡大につなげ産地強化への取り組みを進める。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1) ニラ販売額 (JA入金額)※	23.3億円 (R元)	23.6億円	21.9億円	29.7億円
(2) ニラメニューの売上高	81.8万円 (H30)	0円 ※イベント開催なし		170万円

※園芸年度：8～7月

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸用ハウス整備(H28～) ・グリーンカレッジ(新規就農者勉強会)の開催(H28～) ・新規就農者育成支援(H28～) ・そぐりセンター整備計画策定、そぐり機の新規導入(R元) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳(H28～) ・出荷場GAP点検実施(H28～) ・地元小学校での出前授業・栽培体験(野市小学校、佐古小学校、夜須小学校)(H29～R3) ・集出荷場再編整備計画の検討(R2～3) <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでのニラ料理の出店(香南市、R元：14回) ・「香南カーニバル」でのニラメニューの提供(H29、H30) ・物部川地域情報紙「こじゃんと」へのニラメニュー及び提供店舗の紹介記事の掲載(R元：3回) ・ニラレシピカードを作成し、道の駅等で配布(R2) ・クラスタープランの策定(R3) 	<p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書の策定・提示：2提案(香南市・香美市) ・ニラ農家の新規就農者：12名(H28～R2) ・指導農業士の推薦：4名(H28～R2) ・そぐりセンターの稼働に伴う新規雇用：15人(R3見込) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な農産物生産への生産者の意識向上 ⇒「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳：全戸、出荷場GAP点検実施 <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市イベント(香南カーニバル等)へのニラ料理出店による市内認知度の向上 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量・品質の向上及び省力化技術等の導入拡大 ・生産規模の拡大、担い手の確保育成 ・そぐりセンター利用拡大による省力化・同センターの安定稼働 ・集出荷場等の利用効率向上に向けた再編整備 ・農業体験・収穫体験メニュー、観光商品の造成およびそのPR(観光協会との連携) ・多様な事業者との連携による加工・業務など新たな需要拡大 ・地元飲食店等の連携による新メニュー開発

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆生産上の対策	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left;">生産拡大対策</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区ニラ部会）： <ul style="list-style-type: none"> 環境制御技術の導入拡大や基本的栽培管理技術の徹底等による収量・品質の向上 園芸ハウス整備事業等を活用した規模拡大 そぐり機の活用等による省力化 担い手の確保と育成のための新規就農者受入れ体制の整備・強化と就農支援 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 省力化技術の普及啓発、増収・品質向上技術の検討と導入支援 農地の流動化やハウス整備への支援 新規就農者の確保・研修・経営開始への支援と体制強化 部会活動活性化への助言等 				
◆流通、販売上の対策	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left;">そぐりセンターの効率的・安定的な稼働、新規増設計画検討</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●シミズ・アグリプラス(株)：そぐりセンターの運営 ●JA 高知県（香美地区）：そぐりセンターの運営への協力・支援、そぐりセンター増設の検討 ●県（中央東農業振興センター等）：そぐりセンターへの支援（稼働計画策定、増設検討） 				
◆消費拡大、認知度向上の対策	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left; width: 45%;">集出荷作業効率化に向けた集出荷場の高度化再編整備</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left; width: 45%;">高度な集出荷体制の確立</div> </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の高度化計画の策定と整備 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 整備計画の策定と補助事業への支援 ●JA 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の効率的稼働・運営 ●県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 事業計画実施への支援 				
◆消費拡大、認知度向上の対策	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: left;">香南市、香美市が連携した、地域産業クラスタープランの検討・策定・具体的な取り組みの実施</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市、香美市（観光協会）： <ul style="list-style-type: none"> 地元飲食店等との連携によるメニューの拡大や新たな加工品の開発及び既存加工品の販売拡大、地元飲食店等との連携によるニラを活用した地域イベントの充実 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 新たな需要拡大のための支援策の情報提供 				
<p>【用語】・そぐりセンター：ニラの収穫後、出荷のために実施する、そぐり（不要な外葉の除去）や計量、結末の調製作業を生産者から受託する施設</p>					

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP名 (実施地域)	No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)		
実施主体	◎JA 高知県 (土長地区)、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、新規設立農業法人、(株)トリムエレクトリックマシナリー		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	南国市の主要農作物 (シシトウ、ニラ、ピーマン類) 及び還元水素水を活用した野菜「還元野菜」の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決などに取り組み、生産・流通・販売上の課題を解決し、南国市の農業生産の拡大及び「南国野菜」「還元野菜」のブランド化を図る。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) シシトウ生産量※	606t (R元)	同左	523.4t (対前年度比 86.4%)	615t
(2) ニラ生産量※	927t (R元)	同左	822.2t (対前年度比 88.7%)	839t
(3) ピーマン類生産量 (ピーマン・パプリカ) ※	857t (R元)	同左	896t (対前年度比 104.6%)	1,101t
(4) 「還元野菜」の栽培協力 農家数	6戸 (H27～累計)	同左		7戸 (累計)

※園芸年度：9～8月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆シシトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地ビジョンの構築及び推進 (H29～) 労働力確保・省力化対策 (H29～) 新規就農者確保・育成対策、経営体強化対策 (H29～) 四電の農業参入協定締結及び新会社(株)アイトサ設立 (R2) <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷調製施設の実証・整備及び生産事業に関する協議 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培・病害虫管理及び栽培計画策定支援 機能性の検証 (H25～) 起業との農業参入協議 (R2) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 西島園芸団地での生産拡大 (R元) <p><主な成果></p> <p>◆シシトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販天敵を主体とした天敵導入率：90%以上 (R2.12月) 土着天敵タバコカスミカメの導入農家：81戸 (R2.12月) 	<ul style="list-style-type: none"> JA 高知県土長地区旧 3JA 合同生産者大会の開催等による、生産技術や販売促進に関する生産者間の交流の促進 <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> JA における出荷調製施設の整備に向けた実証の継続 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ピーマン類の反収 (R2 園芸年度) ピーマン：17.1t/10a (対前年比：104%) パプリカ：21.2t/10a (対前年比：100%) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力農家数 H27：3戸 → R2：6戸 (累計) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保 シシトウ産地の維持拡大、省力化技術の確立、経営体制の強化、GAPの取り組みの推進 ニラそぐりセンター設置へ向けた生産部会、JAの方向性決定 ピーマン類 (「還元野菜」含む) の生産体制の強化 「還元野菜」栽培協力農家の確保

4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆シトウの生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA高知県（土長地区）：出荷調製作業省力化のための施設整備 ●南国市：研修用ハウス（サポートハウス）確保 				
	ハウス整備へ向けた計画作成・事業申請	運営開始			
	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 規模拡大志向農家や新規就農者との生産委託や研修体制の充実 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 			
◆ニラの生産拡大	調製作業省力化設備設置へ向けた計画作成・事業申請				
	運営開始				
	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業、JA高知県（土長地区）：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者：規模拡大、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA高知県（土長地区）、JA園芸部ニラ部会：出荷調製作業施設の利用及び運営協力 			
◆ピーマン類の生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 				
	ハウス整備へ向けた計画作成・事業申請	栽培開始			
	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 			
◆「還元野菜」の生産拡大	市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA高知県（土長地区）、(株)トリムエレクトリックマシナリー、県（中央東農業振興センター等）：(株)南国スタイル（パプリカ等）、(株)西島園芸団地（メロン等）を中心に「還元野菜」栽培協力農家の拡大 				

AP名 (実施地域)	No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA 高知県 (土長地区)、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	南国市の主要農作物 (シシトウ、ニラ、ピーマン類) 及び還元水素水を活用した野菜「還元野菜」の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決などに取り組み、生産・流通・販売上の課題を解決し、南国市の農業生産の拡大及び「南国野菜」「還元野菜」のブランド化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1) シシトウ生産量※	606t (R元)	523.4t	499.5t	615t
(2) ニラ生産量※	927t (R元)	822.2t	846.1t	839t
(3) ピーマン類生産量 (ピーマン・パプリカ) ※	857t (R元)	867t	897.7t	1,101t
(4) 「還元野菜」の栽培協力 農家数	6戸 (H27～累計)	6戸	6戸	7戸 (累計)

※園芸年度：9～8月

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆シシトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地ビジョンの構築及び推進 (H29～) 労働力確保・省力化対策 (H29～) 新規就農者確保・育成対策、経営体強化対策 (H29～) 四電の農業参入協定締結及び新会社(株)アイトサ設立 (R2) <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷調製施設の実証・整備及び生産事業に関する協議 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培・病害虫管理及び栽培計画策定支援 機能性の検証 (H25～) 起業との農業参入協議 (R元～3) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 西島園芸団地での生産拡大 (R元～3) <p><主な成果></p> <p>◆シシトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販天敵を主体とした天敵導入農家率：91% (R3.9月) 土着天敵タバコカスミカメの導入農家率：89% (R3.9月) 	<ul style="list-style-type: none"> JA 高知県土長地区旧 3JA 合同生産者大会の開催等による、生産技術や販売促進に関する生産者間の交流の促進 <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> JA における出荷調製施設の整備 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ピーマン類の生産量 R元→R3 園芸年度 857t→897.7t ピーマン：753t→748.8t (対 R 元年比：99.4%) パプリカ：104t→148.9t(対 R 元年比：143.2%) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力農家数 H27：3戸 → R3：6戸 (累計) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保 シシトウ産地の維持拡大、省力化技術の確立、経営体制の強化、GAP の取り組みの推進 ピーマン類 (「還元野菜」含む) の生産体制の強化 「還元野菜」栽培協力農家の確保
--	--

4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆シトウの生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA高知県（土長地区）：出荷調製作業省力化のための施設整備 ●南国市：研修用ハウス（サポートハウス）確保 				
	ハウス整備へ向けた計画作成・事業申請	運営開始			
	<ul style="list-style-type: none"> ●Aitosa(株)：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●Aitosa(株)：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 規模拡大志向農家や新規就農者との生産委託や研修体制の充実 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 			
◆ニラの生産拡大	調製作業省力化設備設置へ向けた計画書作成・事業申請				
	運営開始				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者、JA高知県（土長地区）：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者：規模拡大、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA高知県（土長地区）、JA園芸部ニラ部会：出荷調製作業施設の利用及び運営協力 			
◆ピーマン類の生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 				
	ハウス整備へ向けた計画作成・事業申請	栽培開始			
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)イチネン農園：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)イチネン農園：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 ●JA高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 			
◆「還元野菜」の生産拡大	市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA高知県（土長地区）、(株)トリムエレクトリックマシナリー、県（中央東農業振興センター等）：(株)南国スタイル（パブリカ等）、(株)西島園芸団地（メロン等）を中心に「還元野菜」栽培協力農家の拡大 				

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP名 (実施地域)	No.4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策 (香美市)		
実施主体	◎JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）、JA 高知県（香美地区）、香美市、農地中間管理機構（高知県農業公社）、NPO 法人いなかみ		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ゆず」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) ユズ販売金額 (JA 入金額) ※	4.9 億円 (H28～R元平均)	同左	4.8 億円 (H29～R2 平均) (対前年同期比 97.8%)	5.0 億円 (R2～5 平均)
(2) 青果ユズ出荷量※	760t	同左	750t (対前年同期比 98.8%)	770t

※園芸年度：前年 9～8 月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の整備（H28～） ・新規就農者の育成支援（H28～） ・認定農業者の確保・育成（H28～） ・Iターンによる就農希望者への住宅情報の提供（H30～） <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応じた青果の安定的な供給体制の確立（H28～） ・多様な販売ルートの確保に向けた取り組み(H28～) ・「物部ゆず」のブランド力の強化（H30～） <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興系統及び品種への支援（H28～） ・機械化による生産性向上（H28～） ・園地の確保及び流動化の推進（H30～） <p><主な成果></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書（改訂版）の発信・提示 ・指導農業士 5 名の認定 ・ユズの新規就農者：8 名（H28～） ・認定農業者の確保：新規及び再認定 16 名（R2.12 月） 	<p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果出荷量の安定供給：677t（R2 園芸年度） ・卸売市場を通じたシンガポールへの輸出継続：202kg（R2 園芸年度） ・「物部ゆず」で地理的表示(GI)に登録（R2.6 月） <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業による園地の確保・流動化：7 件（H30～）※見込みを含む ・スピードスプレー（薬剤噴霧器）の導入：1 件（H30） ・優良系統及び品種の栽培面積の普及：面積 136ha、普及率 95.7%（R2） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の強化（情報発信等） ・住環境の提供による移住での新規就農者の確保 ・新規就農者の就農計画の策定及び技術習得 ・担い手の営農計画の策定 ・冬至玉の出荷予測精度の向上 ・集出荷場の作業効率の向上 ・剪定・防除等の基本技術の徹底、計画的な新改植等による青果ユズの確保 ・収穫期の労働力確保 ・園地の流動化などによる生産規模の維持・確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手対策	<p>担い手の確保・育成、受入体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 研修生受入体制の整備・強化と就農支援、産地提案書の見直し、指導農業者の確保 担い手の各事業計画（就農計画・経営改善計画・資金借受計画等）の策定 ●香美市：新規就農者の確保・育成のための各事業・施策による支援、認定農業者の確保・育成への支援 ●NPO 法人いなかみ：産地の情報発信、空き家等の住宅情報の提供 ●県（中央東農業振興センター等）：研修生の受入体制への助言、担い手の各事業計画の策定支援等 				
◆流通、販売上の対策	<p>冬至玉の出荷予測精度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予想出荷量と市場要請量との調整、予測精度の向上 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： AI等を活用した出荷予測精度向上への支援 		<p>予測システムの運用・修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予測システムの運用と市場要請量との調整 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： 予測システムの活用に向けた普及と改良 		
	<p>集出荷場の整備・作業効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 集出荷場の整備計画の策定 作業行程等の見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 		<p>集出荷場作業行程改善の運用・検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 作業行程改善後の運用と更なる見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 		
	<p>「物部ゆず」のブランド力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会）： GIを活用した販売促進活動、市場経由による輸出継続 				
	◆生産向上対策	<p>青果生産量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会、無料職業紹介所）： 部会活動（講習会、現地検討会）の活性化、産地間交流の推進、労働力確保に向けた体制整備 ●県（中央東農業振興センター、果樹試験場等）： 部会活動への支援、産地間交流支援、優良系統・品種及び新技術に関する情報提供、労働力確保への支援 			
<p>園地の整備・流動化・機械化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）：意向調査に基づく園地情報の提供 ●香美市（農業委員会）：園地整備・機械化に関連する事業支援、担い手への園地集積のための農地情報提供 ●農地中間管理機構：担い手への園地集積のための農地情報提供 ●県（中央東農業振興センター等）：園地マッチングへの支援、園地整備・機械化に係る事業支援 					
<p>【用語】・青果ユズ：果実への傷、生理障害、病気が少ない良質のユズ。「酢玉」以外の出荷品。物部柚子生産部会の規格では「青玉」、「カラーリング玉」、「黄玉平箱」、「冬至玉」、「貯蔵玉」、「小袋包装」が該当する。R2園芸年度の実績で青果率は54%</p>					

AP名 (実施地域)	No.4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策 (香美市)
実施主体	◎JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）、JA 高知県（香美地区）、香美市、農地中間管理機構（高知県農業公社）、NPO 法人いなかみ
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ゆず」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1) ユズ販売金額 (JA 入金額) ※	4.9 億円 (H28～R 元平均)	4.8 億円 (H29～R2 平均)	4.5 億円 (H30～R3 平均)	5.0 億円 (R2～5 平均)
(2) 青果ユズ出荷量※	760t	750t	709t	770t

※園芸年度：前年 9～8 月

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の整備（H28～） ・新規就農者の育成支援（H28～） ・認定農業者の確保・育成（H28～） ・I ターンによる就農希望者への住宅情報の提供（H30～） <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応じた青果の安定的な供給体制の確立（H28～） ・多様な販売ルートの確保に向けた取り組み(H28～) ・「物部ゆず」のブランド力の強化（H30～） <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興系統及び品種への支援（H28～） ・機械化による生産性向上（H28～） ・園地の確保及び流動化の推進（H30～） <p><主な成果></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書（改訂版）の発信・提示 ・指導農業士 5 名の認定 ・ユズの新規就農者：8 名（H28～） ・認定農業者の確保：新規及び再認定 25 名（R3.12 月） 	<p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果出荷量の安定供給：719t（R3 園芸年度） ・卸売市場を通じたシンガポールへの輸出継続：90kg（R3 園芸年度） ・「物部ゆず」で地理的表示(GI)に登録（R2.6 月） <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業による園地の確保・流動化：7 件（H30～）※見込みを含む ・スピードスプレー(薬剤噴霧機)の導入：1 件（H30） ・優良系統及び品種の栽培面積の普及：面積 136ha、普及率 95.7%（R3） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の強化（情報発信等） ・住環境の提供による移住での新規就農者の確保 ・新規就農者の就農計画の策定及び技術習得 ・担い手の営農計画の策定 ・冬至玉の出荷予測精度の向上 ・集出荷場の作業効率の向上 ・剪定・防除等の基本技術の徹底、計画的な新改植等による青果ユズの確保 ・収穫期の労働力確保 ・園地の流動化などによる生産規模の維持・確保
---	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手対策	担い手の確保・育成、受入体制の見直し				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 研修生受入体制の整備・強化と就農支援、産地提案書の見直し、指導農士の確保 担い手の各事業計画（就農計画・経営改善計画・資金借受計画等）の策定 ●香美市：新規就農者の確保・育成のための各事業・施策による支援、認定農業者の確保・育成への支援 ●NPO 法人いなかみ：産地の情報発信、空き家等の住宅情報の提供 ●県（中央東農業振興センター等）：研修生の受入体制への助言、担い手の各事業計画の策定支援等 				
◆流通、販売上の対策	冬至玉の出荷予測精度の向上		予測システムの運用・修正		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予想出荷量と市場要請量との調整、予測精度の向上 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： AI等を活用した出荷予測精度向上への支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予測システムの運用と市場要請量との調整 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： 予測システムの活用に向けた普及と改良 		
	集出荷場の整備・作業効率の向上		集出荷場作業行程改善の運用・検証		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 集出荷場の整備計画の策定 作業行程等の見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 作業行程改善後の運用と更なる見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 		
	「物部ゆず」のブランド力の強化				
<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会）： GIを活用した販売促進活動、市場経路による輸出継続 					
◆生産向上対策	青果生産量の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会、無料職業紹介所）： 部会活動（講習会、現地検討会）の活性化、産地間交流の推進、労働力確保に向けた体制整備 ●県（中央東農業振興センター、果樹試験場等）： 部会活動への支援、産地間交流支援、優良系統・品種及び新技術に関する情報提供、労働力確保への支援 				
	園地の整備・流動化・機械化の推進				
<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）：意向調査に基づく園地情報の提供 ●香美市（農業委員会）：園地整備・機械化に関連する事業支援、担い手への園地集積のための農地情報提供 ●農地中間管理機構：担い手への園地集積のための農地情報提供 ●県（中央東農業振興センター等）：園地マッチングへの支援、園地整備・機械化に係る事業支援 					
【用語】・青果ユズ：果実への傷、生理障害、病斑が少ない良質のユズ。「酢玉」以外の出荷品。物部柚子生産部会の規格では「青玉」、「カラーリング玉」、「黄玉平箱」、「冬至玉」、「貯蔵玉」、「小袋包装」が該当する。R2園芸年度の実績で青果率は54%					

修正前

修正項目 (案)

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP名 (実施地域)	No.8 ヤギミルク等の生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)		
実施主体	◎川添ヤギ牧場		
APへの 位置づけ	H28.4月		
事業概要	流通の少ない、ヤギミルク及びヤギ肉の安定供給を図るため、生産体制を強化するとともに、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
ヤギミルク、ヤギ肉の売上高※	591万円 (H30)	2,308万円		4,380万円

※会計年度：1～12月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県ヤギ飼料生産組合を設立 (H28) ・新畜舎の整備 (H29) ⇒H28～29産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費 4,432万円) ・搾乳・飼料生産機械の導入 (H29) ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギの飼育体制の改善・強化 (H30、R元) <p>◆販路開拓及び加工品の開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギ肉の販売開始 (H28) ・ひまわり乳業(株)と連携し、飲料ヤギミルクの販売開始 (H28) ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギ肉の販売戦略の作成 (R2) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ヤギミルク (飲用) の販売額の増加 H28:143万円 → R元:1,915万円 ◆雇用の創出 H27:2人 (正規2人) →R2:13人 (正規8人、短期5人) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ・経営の安定化 (経営状況の分析、事業計画の見直し、人材育成) ・ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大に応じた販路の拡大

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立	生産体制の強化				
	畜舎等の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ飼育頭数の増加、ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大 飼育データの収集・蓄積、高知大学等との共同研究による品質向上 搾乳量に応じた事業計画の見直し ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 新畜舎・備品等の整備 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 		
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 事業拡大にあわせた組織体制づくり（新規雇用、飼育人材の育成等） 経営の安定化に向けた取り組みの実施（経営状況の分析・改善、事業計画の精査・見直し等） ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	県外へ向けた販売促進				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販売、販路開拓 ヤギ肉試食会の開催、商談会への参加等によるヤギ肉の販路開拓 メディア、HP、フェイスブックを活用した情報発信 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	新商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 生産量増加に伴う新たな商品（加工品）の検討、新たな OEM 商品の実現 ●県（地域本部等）： 新商品開発の支援制度に関する情報提供、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 				
	プロモーション活動				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ産業化の取り組みやひまわり乳業(株)と連携したヤギミルク商品等の情報発信 ●県（地域本部等）： 高知県地産外商公社への橋渡し 				

AP名 (実施地域)	No.7 ヤギミルク等の生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)
実施主体	◎(株)川添ヤギ牧場
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	流通の少ない、ヤギミルク及びヤギ肉の安定供給を図るため、生産体制を強化するとともに、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
ヤギミルク、ヤギ肉等の売上高※	591万円 (H30)	3,141万円	2,509万円	4,380万円

※会計年度：12月～11月（ただし、R2は個人事業主であったため暦年で計上）

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県ヤギ飼料生産組合を設立（H28） ・新畜舎の整備（H29） ⇒H28～29産業振興推進総合支援事業費補助金の活用（事業費4,432万円） ・搾乳・飼料生産機械の導入（H29） ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギの飼育体制の改善・強化（H30、R元） <p>◆販路開拓及び加工品の開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギ肉（枝肉）の販売開始（H28） ・ひまわり乳業(株)と連携した飲料ヤギミルクの販売開始（H28） ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギ肉の販売戦略の作成（R2） ・ペット用ヤギミルクの販売開始（R2） ・ヤギミルクパウダーの販売開始（R3） ・ヤギ肉の新パッケージでの販売開始（R3） ・加工業者（ソーセージ、サラミ）へのヤギ肉の販売開始（R3） ・公式ホームページの開設及びペット用ヤギミルク・ヤギ肉商品のネット販売開始（R3） 	<ul style="list-style-type: none"> ・産直オンライン市場「高知かわうそ市場」を通じたヤギミルク・ヤギ肉商品の販売開始（R3） ・道の駅やペット可宿泊施設等でのヤギミルク商品の販売開始（R3） <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ヤギミルク、ヤギ肉等の売上高の増加 H27:368万円 → R3:2,509万円 ◆雇用の創出 H27:2人（正規2人） →R3:11人（正規5人、短期6人） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ・経営の安定化（経営状況の分析、事業計画の見直し、人材育成） ・ヤギミルク・ヤギ肉の販路の拡大
--	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立	生産体制の強化				
	畜舎等の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)川添ヤギ牧場： 新畜舎・備品等の整備 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)川添ヤギ牧場： 飼育データの収集・蓄積、高知大学等との共同研究による品質向上 搾乳量に応じた事業計画の見直し ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 		
	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)川添ヤギ牧場： 経営の安定化に向けた取り組みの実施(経営状況の分析・改善、事業計画の精査・見直し等) ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	県外へ向けた販売促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)川添ヤギ牧場： ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販売、販路開拓 ヤギ肉試食会の開催、商談会への参加等によるヤギ肉の販路開拓 メディア、HP、フェイスブックを活用した情報発信 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	新商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)川添ヤギ牧場： 生産量増加に伴う新たな商品（加工品）の検討、新たな OEM 商品の実現 ●県（地域本部等）： 新商品開発の支援制度に関する情報提供、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 				
	プロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)川添ヤギ牧場： ヤギ産業化の取り組みやひまわり乳業(株)と連携したヤギミルク商品等の情報発信 ●県（地域本部等）： 高知県地産外商公社への橋渡し 				

修正前

修正項目（案）

物部川地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.12 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)		
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、(株)奇想天外、南国市中心市街地振興協議会		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) エリア内の売上高	6億800万円 (H30)	6億800万円		7億6,199万円
(2) 新規出店数	0件 (H30)	0件	6件 (対前年度比 皆増)	12件
(3) 拠点施設の入場者数	0人 (H30)	0人		33,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごめんまち将来像プラン」の策定（H27） ・中心市街地振興計画の策定（R2） <p>◆各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結（H28） ・(株)海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナンコクフェスティバル」等のイベントの開催（H28～） <p>◆拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定（H30） ・地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金（R元）の活用（総事業費：12億7,426万円） ・空き店舗調査（R2） 	<p><主な成果></p> <p>◆施設整備</p> <p>R元.8月着工 ⇒ R2.12月竣工 ⇒ R3.3.21 グランドオープン</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ・ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進
---	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 中心市街地の賑わい創出	中心市街地振興計画の策定・実行				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： 中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ● 南国市： 中心市街地振興協議会における計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： 計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し 				
◆ 各種イベントの開催や空き店舗の活用等	各種イベントの開催				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知、(株)奇想天外： 施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画・実施 ● 南国市、南国市商工会： (株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ポケットパークにおける定期的なイベント開催 ● 南国市：地域おこし協力隊の採用 ● 県（地域本部等）：関係者への橋渡し 				
	中心商店街における空き店舗の活用等				
<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： 空き店舗及び地域資源を生かしたイベントの実施、 新規出店者数増へつなげるため、チャレンジショップ事業の検討及び推進 空き店舗活用への支援策の充実 ● 県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し 					
◆ 拠点施設の整備・運営等	施設の整備		施設の運営		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市： 施設の設置・管理に係る手続き 施設運営の準備 ● 県（地域本部等） 各種支援制度に関する情報提供、 関係者への橋渡し 		<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知：フィギュアの生産開始 ● 南国市： オープニングイベントや定期的なイベントの開催 施設への入込客数増に向けた取り組み 来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり 南国市地域経済活性化計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： 施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、 関係者への橋渡し 		

AP名 (実施地域)	No.11 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、南国市中心市街地振興協議会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1) エリア内の売上高	11億 5,569万円 (R2)	11億 5,569万円		12億 5,624万円
(2) 新規出店数	0件 (H30)	5件 (H30~R2 累計)		12件 (H30~R5 累計)
(3) 拠点施設の入場者数	0人 (H30)	8,428人		33,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごめんまち将来像プラン」の策定 (H27) ・中心市街地振興計画の策定 (R2) <p>◆各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結 (H28) ・(株)海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナンコクフェスティバル」等のイベントの開催 (H28~) ・ものづくりイベント「ごめん tete マルシェ」の開催 (R元~) ・「ソフビ・アートフェスティバル in NANKOKU」の開催 (R3) <p>◆拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定 (H30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金 (R元) の活用 (総事業費：12億7,426万円) ・空き店舗調査 (R2~) <p><主な成果></p> <p>◆施設整備</p> <p>R元.8月着工 ⇒ R2.12月竣工 ⇒ R3.3.21 グランドオープン</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ・ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進
--	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 中心市街地の賑わい創出	中心市街地振興計画の策定・実行				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ● 南国市： <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地振興協議会における計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し 				
◆ 各種イベントの開催や空き店舗の活用等	各種イベントの開催				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知 <ul style="list-style-type: none"> 施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画・実施 ● 南国市、南国市商工会： <ul style="list-style-type: none"> (株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ポケットパークにおける定期的なイベント開催 軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ● 南国市：地域おこし協力隊の採用 ● 県（地域本部等）：関係者への橋渡し 				
	中心商店街における空き店舗の活用等				
<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗及び地域資源を生かしたイベントの実施、新規出店者数増へつなげるため、チャレンジショップ事業の検討及び推進 空き店舗活用の支援策の充実 空き店舗に関する情報収集 ● 県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 					
◆ 拠点施設の整備・運営等	施設の整備		施設の運営		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市： <ul style="list-style-type: none"> 施設の設置・管理に係る手続き 施設運営の準備 ● 県（地域本部等） <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し 		<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知：フィギュアの生産開始 ● 南国市： <ul style="list-style-type: none"> 定期的なイベントの開催 施設への入込客数増に向けた取り組み 来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり 南国市地域経済活性化計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 		

修正前

修正項目（案）

物部川地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.15 野市町中心商店街の振興 (香南市)
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会
APへの 位置づけ	R2.4月
事業概要	香南市野市町の中心商店街において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心商店街を核とした地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
空き店舗等を活用した 新規開業数	0件 (H30)	0件		8件 (累計)

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設 (H28) ⇒空き店舗改修等に対する補助 活用実績：1件 (H28～R元累計) ・商工会等 HP への空き店舗物件情報の掲載 (H30) ・香南市空き店舗等対策事業費補助金要綱の改正 (R元) ⇒補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡充 ・チャレンジショップ実現可能性の検討 (R元) <p>◆運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R元) 	<p><主な成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助金の活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ・空き店舗情報の発信 (市内外への PR) ・新規創業希望者へのサポート体制の確立

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆空き店舗対策	空き店舗実態調査等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗実態調査の実施 空き店舗バンクの創設によるリスト化 ●香南市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 県・市との連携及び情報共有 ●県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 支援制度についての情報提供等 		空き店舗解消に向けた取り組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 情報発信による周知（空き店舗情報、事業承継支援等） 補助金による改修の促進 ●香南市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 県・市との連携及び情報共有 空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援 ●県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 支援制度についての情報提供、伴走支援等 		
	◆運営体制の 確立	商店街等振興計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 中心商店街の中長期的な戦略の策定 ●香南市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 計画策定への参画、意見反映等 ●県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 計画策定に対する支援 		商店街振興計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 事業承継、人材ニーズの掘り起こし及び情報発信 商店街振興計画を踏まえた補助事業の拡充の検討 空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 ●香南市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 創業、事業承継希望者への伴走支援の実施 空き店舗情報等の積極的な情報発信 ●県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援等 	

修正後

物部川地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.14 野市町中心商店街の振興 (香南市)
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会
APへの 位置づけ	R2.4月
事業概要	香南市野市町の中心商店街において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心商店街を核とした地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
空き店舗等を活用した 新規開業数	0件 (H30)	0件		8件 (累計)

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設 (H28) ⇒空き店舗改修等に対する補助 活用実績：1件 (H28～R元累計) ・商工会等 HP への空き店舗物件情報の掲載 (H30) ・香南市空き店舗等対策事業費補助金要綱の改正 (R元) ⇒補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡充 ・チャレンジショップ実現可能性の検討 (R元) <p>◆運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R元) 	<p><主な成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助金の活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ・空き店舗情報の発信 (市内外への PR) ・新規創業希望者へのサポート体制の確立
--	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆空き店舗対策	空き店舗実態調査等の実施		空き店舗解消に向けた取り組みの推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 空き店舗実態調査の実施 空き店舗バンクの創設によるリスト化 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供等 		<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 情報発信による周知 （空き店舗情報、事業承継支援等） 補助金による改修の促進 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供、伴走支援等 		
◆運営体制の 確立	商店街等振興計画の策定		商店街振興計画の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 中心商店街の中長期的な戦略の策定 ●香南市商工会： 計画策定への参画、意見反映等 ●県（商工労働部、地域本部等）： 計画策定に対する支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 事業承継、人材ニーズの掘り起こし及び情報発信 商店街振興計画を踏まえた補助事業の拡充の検討 空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 ●香南市商工会： 創業、事業承継希望者への伴走支援の実施 空き店舗情報等の積極的な情報発信 ●県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援等 		

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP名 (実施地域)	No.20 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)		
実施主体	◎(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、 (一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者		
APへの 位置づけ	H24.4月		
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、 魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上 げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
主要観光施設入込数 (9施設) ※	70.7万人 (H30)	74.1万人		89.8万人

※ 4～3月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知県における観光による地域活性化に関する連携協定」締結(県、(株)四国銀行、(株)地域経済活性化支援機構) ⇒「高知県観光活性化ファンド」設立 (H27) ・物部川地域を DMO 構築のパイロット地域に選定 ・「物部川地域観光基本計画」の策定 (H28.3月) (県、(株)四国銀行、REVIC、南国市、香南市、香美市) ・「物部川 DMO 協議会」が発足 (H28) ・協定に基づきファンド資金と REVIC 人材により DMO 構築の司令塔役として(株)ものべみらい設立 (H28) ・物部川 DMO 協議会が事務局職員を採用・配置し、各事業の運営開始 (H29) ・物部川 DMO 協議会の一般社団法人化 (H31.3月) ⇒第3種旅行業登録 (R元) ・観光庁「候補 DMO」登録 (R元) ・観光地域づくり塾を通じた滞在型観光プラン整備計画の策定 (R2) <p>◆観光商品の充実・観光客の広域誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内観光素材の調査、体験プログラム素材の掘り起こし ・協議会公式 HP 及び SNS の構築 (H28) ・ミキハウスウェルカムファミリー観光地エリアの認定 (H29) ・ビッグデータ活用による観光動態調査の実施 (H29～30) ・お客様ニーズに沿った商品企画作成・販売実施(H30～) ・ファミリー層向け広域観光パンフレット「とりせつ」作成(H29～) ・商談会等で旅行会社へセールス(H29:4回、H30:17回、R元:10回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘客多角化事業(観光庁)の採択によるバリアフリー観光の推進 (R2) <p>◆地域連携による周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携企画イベントの開催 (H28:「おさかなクリスマス in 高知ものべがわ」、H29～(年1回)「ものべがわフェスタ」) <p>◆物部川地域の観光に携わる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内事業者向け研修・モニターツアーの実施 (H30～) ・高知大地域協働学部との協働により旅行商品の造成及び販売の実施 (R2.1月) <p><主な成果></p> <p>◆DMO 協議会の一般社団法人化等によるガバナンスの強化 ⇒広域観光組織の位置づけ(地域のセールス役)の明確化 3市の官民による「観光地域づくり」の連携体制の構築</p> <p>◆物部川フェスタ来場者数 H27:3,000人 → R元:6,000人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担し協働することによる持続的広域観光推進のための地域体制強化 ・周遊促進のための旅行商品の造成・販売(旅行業の活用) ・物部川エリアのブランド化 <p>※主要9観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西島園芸団地、県立歴史民俗資料館(南国市)、県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵金蔵(香南市)、やなせたかし記念館、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(香美市)

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	<p>(一社)物部川 DMO 協議会の組織体制の強化</p> <p>物部川広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、(株)ものべみらい：観光地域づくり法人（DMO）登録に向けた取り組みの推進、登録 DMO への登録、マーケティング機能強化 		<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、(株)ものべみらい：マーケティング調査の分析に基づく広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施 		
	<p>地域内での連携体制の整備・運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、3市観光協会：圏域内で協力して観光地域づくりを行うため、市もしくは観光協会を窓口とした連携体制の整備及び運用 				
◆観光商品の充実・観光客の広域誘致	<p>各市における観光商品の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：物部川地域を対象とした新たな観光資源（体験メニュー等）の発掘・磨き上げ 3市観光協会が行う観光商品づくり等への支援 ●3市観光協会：関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源（体験メニュー等）の発掘・磨き上げ 土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり 				
	<p>圏域における旅行商品の企画造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：圏域内での周遊ツアー、地域イベントを組み込んだツアー商品等、旅行業を活用した旅行商品の企画造成 				
	<p>戦略的なセールス・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェントセールスの実施、ターゲット層への訴求力のある媒体を活用したエリア情報発信の実施、広域観光パンフレットや HP、SNS 等を活用したエリア情報発信の実施 				
	<p>連携企画等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携によるイベント（ものべがわフェスタ）等を企画・実施 				
◆物部川地域の観光に携わる人材の育成	<p>物部川地域の観光関係者の人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 ●県（地域観光課、地域本部等）：県等が実施する研修の情報提供 				
<p>【用語】・観光地域づくり法人（DMO）：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。観光庁が登録を所管。令和2年4月から登録基準の厳格化に伴い、名称を「日本版 DMO」から「登録 DMO」に、「候補法人」から「候補 DMO」に変更。</p>					

AP名 (実施地域)	No.19 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)
実施主体	◎(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者
APへの位置づけ	H24.4月
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
主要観光施設入込数 (9施設) ※	70.7万人 (H30)	46.1万人		89.8万人

※ 4～3月

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知県における観光による地域活性化に関する連携協定」締結(県、(株)四国銀行、(株)地域経済活性化支援機構) ⇒「高知県観光活性化ファンド」設立 (H27) ・物部川地域を DMO 構築のパイロット地域に選定 ・「物部川地域観光基本計画」の策定 (H28.3月) (県、(株)四国銀行、REVIC、南国市、香南市、香美市) ・「物部川 DMO 協議会」が発足 (H28) ・協定に基づきファンド資金と REVIC 人材により DMO 構築の司令塔役として(株)ものべみらい設立 (H28) ・物部川 DMO 協議会が事務局職員を採用・配置し、各事業の運営開始 (H29) ・物部川 DMO 協議会の一般社団法人化 (H31.3月) ⇒第3種旅行業登録 (R元) ・日本版 DMO 候補法人登録 (R元) ・滞在型観光プラン整備計画の策定 (R2) ・観光地域づくり推進員の採用 (R3) <p>◆観光商品の充実・観光客の広域誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内観光素材の調査、体験プログラム素材の掘り起こし ・協議会公式 HP 及び SNS の構築 (H28) ・ミキハウスウェルカムファミリー観光地エリアの認定 (H29) ・ビッグデータ活用による観光動態調査の実施 (H29~30) ・お客様ニーズに沿った商品企画・販売実施(H30~) ・ファミリー層向け広域観光パンフレット「とりせつ」作成(H29~) ・商談会等で旅行会社へセールス(H29:4回、H30:17回、R元:10回、R2:21回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘客多角化事業(観光庁)の採択によるバリアフリー観光の推進 (R2) <p>◆地域連携による周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携企画イベントの開催 (H28:「おさかなクリスマス in 高知ものべがわ」、H29~(年1回)「ものべがわフェスタ」) ・ものべ SSS 認証制度の制定 (R2~) R2:14団体、R3:13団体 計:27団体 <p>◆物部川地域の観光に携わる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内事業者向け研修・モニターツアーの実施 (H30~) ・高知大地域協働学部との協働により旅行商品の造成及び販売の実施 (R2.1月) <p><主な成果></p> <p>◆DMO 協議会の一般社団法人化等によるガバナンスの強化 ⇒広域観光組織の位置づけ(地域のセールス役)の明確化 3市の官民による「観光地域づくり」の連携体制の構築</p> <p>◆物部川フェスタ来場者数 H27:3,000人→R元:6,000人 (R2、3:開催なし)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担し協働することによる持続的広域観光推進のための地域体制強化 ・周遊促進のための旅行商品の造成・販売(旅行業の活用) ・物部川エリアのブランド化 <p>※主要9観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西島園芸団地、県立歴史民俗資料館(南国市)、県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵金蔵(香南市)、やなせたかし記念館、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(香美市)
---	---

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	（一社）物部川 DMO 協議会の組織体制の強化		物部川広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施			
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会、（株）ものべみらい：観光地域づくり法人（DMO）登録に向けた取り組みの推進、登録 DMO への登録、マーケティング機能強化 		<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会、（株）ものべみらい：マーケティング調査の分析に基づく広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施 			
	地域内での連携体制の整備・運用					
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、3市観光協会：圏域内で協力して観光地域づくりを行うため、市もしくは観光協会を窓口とした連携体制の整備及び運用 					
◆観光商品の充実・観光客の広域誘致	各市における観光商品の充実					
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会：物部川地域を対象とした新たな観光資源（体験メニュー等）の発掘・磨き上げ 3市観光協会が行う観光商品づくり等への支援 ●3市観光協会：関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源（体験メニュー等）の発掘・磨き上げ 土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり 					
	圏域における旅行商品の企画造成・ユニバーサルツーリズムの推進					
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会：圏域内での周遊ツアー・地域イベントを組み込んだツアー商品・<u>教育旅行プラン</u>等旅行業を活用した旅行商品の企画造成 誘客多角化事業、エリア内調査、人材の育成、エリア内施設のバリアフリー化等によるユニバーサルツーリズムの推進 					
	戦略的なセールス・PR・インバウンド対策の実施					
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会：ターゲット層及びエリアに即した国内外の旅行エージェント等に対するセールスの実施、商談会への出展、マーケティング調査の分析、戦略の策定・共有、広域観光パンフレット・HP・SNS等を活用したターゲット層への訴求力のあるエリア情報発信、各種広報媒体の多言語化、国外の旅行者・メディア等を対象とした視察旅行の実施 ●県（地域観光課、地域本部等）：外国人対応研修等に関する情報提供 					
◆地域連携による周遊促進	連携企画等の実施					
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会：圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携による<u>3市連携イベント</u>（ものべがわフェスタ）等を企画・実施 					
◆物部川地域の観光に携わる人材の育成	物部川地域の観光関係者の人材育成					
	<ul style="list-style-type: none"> ●（一社）物部川 DMO 協議会：広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 ●県（地域観光課、地域本部等）：県等が実施する研修の情報提供 					

【用語】観光地域づくり法人（DMO）：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。観光庁が登録を所管。令和2年4月から登録基準の厳格化に伴い、名称を「日本版DMO」から「登録DMO」に、「候補法人」から「候補DMO」に変更。

AP名 (実施地域)	No.22 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市)
実施主体	◎(株)西島園芸団地、南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会、 南国市観光施設連絡会
APへの 位置づけ	R3.4月
事業概要	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1)観光客入込数 (1~12月)	101,691人 (R元速報値)	同左		100,000人
(2)年間売上額※	3億940万円 (R元)	同左		3億6,000万円

※会計年度：8~7月

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	課題
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人「西島園芸団地」設立（S46） ・観光農園事業開始（S54） ・株式会社化（H25） <p>◆全体コンセプトの構築とリブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型）の活用による短期・中期の事業計画の策定（R2） ・SWOT分析の実施（R2） ・ブランディング戦略の検討（R2） <p>◆新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型）の活用による新商品開発（R2） <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改修、イチゴの高設栽培面積の増反、体温計・自動手洗い設備の導入 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年をピークに年々観光客は減少傾向 ・新型コロナウイルス感染症の影響で大型バスでの来場が激減。個人客も減少 ・施設の老朽化 ・時代の変化・顧客ニーズにあわせた施設運営が求められている ・自社の農産物を使った加工品の開発 ・人材の確保・育成 ・生産資材価格の高騰

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体制強化	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">事業計画策定</div>		<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">計画の実施、見直し</div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT分析を踏まえた事業計画の策定 ●県（地域本部等）：計画策定に対する支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：事業計画の進捗管理、状況に応じた見直し ●南国市・県（地域本部等）：各種支援策の情報提供等 		
◆全体コンセプトの構成とリブランディング	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">コンセプト構築</div>		<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">施設改修</div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT分析、アドバイザーのアドバイスを踏まえたコンセプト構築 ●南国市・県（地域本部等）：助言・情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：コンセプトを踏まえた施設改修 ●南国市・県（地域本部等）：補助事業による支援 		
◆新商品の開発	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">新商品の開発・販路拡大</div>				
<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：消費者ニーズを踏まえた新商品の開発、パッケージ改良等既存商品の磨き上げ、各種商談会への参加、自社加工場の県版 HACCP 対応 ●南国市・県（地域本部等）：アドバイザーの活用提案、県等が主催する商談会や各支援策等の情報共有 					
<p>【用語】・リブランディング：時代や顧客にあわせ、既存のブランドの再構築を含めた新たなブランドを構築すること。</p>					

AP 名 (実施地域)	No.21 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市)
実施主体	◎(株)西島園芸団地、南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会、南国市観光施設連絡会
AP への位置づけ	R3.4 月
事業概要	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R 2	R 3	R 5
(1)観光客入込数 (1~12月)	<u>106,191 人</u> (R元)	64,789 人	95,852 人	100,000 人
(2)年間売上額※	<u>3億2,672 万円</u> (R元)	3 億 994 万円	3 億 883 万円	3 億 6,000 万円

※会計年度：8~7 月

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人「西島園芸団地」設立 (S46) ・観光農園事業開始 (S54) ・株式会社化 (H25) <p>◆全体コンセプトの構築とリブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー (課題一貫支援型) の活用による短期・中期の事業計画の策定 (R2~) ・SWOT 分析の実施 (R2) ・ブランディング戦略の検討 (R2~) <p>◆新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー (課題一貫支援型) の活用による新商品開発 (R2~) ・6 次産業化セミナー実践コースの受講による新たなカフェメニューの開発 (R3) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改修、イチゴの高設栽培面積の増反、体温計・自動手洗い設備の導入 (R2) ・スイカパンの発売 (R3.7 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・通販サイトリニューアル (R3.6 月) ・イチゴ狩りの WEB 予約システムの導入 (R3.12 月) ・新たなカフェメニューの提供 (R4.1 月~) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年をピークに年々観光客は減少傾向 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大型バス、個人客の来場減 ・施設の老朽化 ・時代の変化・顧客ニーズにあわせた施設運営 ・自社の農産物を使った加工品の開発 ・人材の確保・育成 ・生産資材価格の高騰
---	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体制強化	事業計画策定			計画の実施、見直し	
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT分析を踏まえた事業計画の策定 ●南国市・県（地域本部等）：計画策定に対する支援 			<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：事業計画の進捗管理、状況に応じた見直し ●南国市・県（地域本部等）：各種支援策の情報提供等 	
	人材の確保・育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：OJTによる人材の確保・育成、各種セミナー等への参加 ●南国市・県（地域本部等）：関係機関への橋渡し、各種支援策、セミナー等の情報提供 				
◆全体コンセプトの構成とリブランディング	コンセプト構築・施設改修内容検討			施設改修	
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT分析、アドバイザーのアドバイスを踏まえたコンセプト構築 ●南国市・県（地域本部等）：助言・情報提供 			<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：コンセプトを踏まえた施設改修 ●南国市・県（地域本部等）：補助事業による支援 	
◆新商品の開発	新商品の開発・販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：消費者ニーズを踏まえた新商品の開発、パッケージ改良等既存商品の磨き上げ、各種商談会への参加、自社加工場の県版 HACCP 対応 ●南国市・県（地域本部等）：アドバイザーの活用提案、県等が主催する商談会や各支援策等の情報共有 				
【用語】・リブランディング：時代や顧客にあわせ、既存のブランドの再構築を含めた新たなブランドを構築すること。					

修正前

修正項目（案）

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP名 (実施地域)	No.26 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)		
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、◎(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市		
APへの位置づけ	H29.9月		
事業概要	H29.11月に龍河洞エリア活性化協議会が策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に基づき、関係機関が連携し、エリア全体の誘客促進に向けた取り組みを推進していく。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
観光客入込客数※	12.6万人 (R元)	同左	7.6万人 (対前年比 60.4%)	20万人

※1～12月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆「龍河洞エリア活性化協議会」の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍河洞エリア活性化協議会の開催 R2:4回 <p>◆基本計画の推進及び施設等の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点等整備事業費補助金の活用による施設整備 (H30) 龍河洞エリア活性化推進事業 (事業費 8,951.5万円) ・龍河洞洞内コンテンツ整備事業 (洞内演出照明、音響、プロジェクションマッピングの整備) (事業費 6,390万円) ・龍河洞エリア動線・景観等整備計画の策定 (事業費 447.6万円) ・「新・龍河洞」ランドオープン (R元.7月) ・観光拠点等整備事業費補助金の活用による施設整備 (R元) 龍河洞エリア活性化推進事業 (事業費 93.5万円) (龍河洞駐車場等整備設計委託業務の実施) <p>◆広報、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施 ・新聞、テレビ、雑誌、地元情報誌を活用した情報発信 	<p>◆集客イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーズンイベントの開催 (R2:8回) ・既存イベント (龍河洞ナイト、ハロウィンイベント等) の磨き上げ <p><主な成果></p> <p>◆観光客入込数</p> <p>R2:7.6万人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち冒険コース体験者数 R元:3,130人→R2:1,629人 ・集客イベントの開催を通じた入込数の確保 夜間営業の入洞者数 (内数) R元:5,050人→R2:2,650人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画に基づく施設整備の実施 ・さらなる入洞者数の増に向けた集客イベント、セールス、広報・PRの実施・強化 ・文化財 (史跡・天然記念物) としての龍河洞の保全・活用

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆基本計画の 推進及び施設 等の改修	龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画の精査及び具体化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や整備の優先順位、費用対効果について協議 ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：実施主体、運営体制について精査及び実現可能性の検討 ●香美市、県（観光振興部、地域本部等）：予算化に向けた課題整理、計画の進捗管理 				
	駐車場動線整理 通路安全対策	エリア内の他の施設の改修			
	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会： 改修の実施 ●香美市、県 (地域本部等)： 補助金申請等への支援 及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会： 予算化をもとにした改修の実施（博物館、珍鳥センター等） ●龍河洞エリア活性化協議会： 各施設の機能や改修の必要性、優先順位について協議 ●香美市、県（地域本部等）： 補助金の予算化及び各種活用可能な支援制度に係る情報提供 			
	老朽化した施設の除却 除却後の活用計画の策定	除却後のスペースの有効活用			
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい： 除却後の活用計画及び事業主体の検討 香美市予算化後の除却の実施 ●香美市：除却費等を予算化 ●県（地域本部等）：除却に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい： 予算化をもとにした施設整備及び運営 ●香美市、県(地域本部等)： 補助金の予算化の検討 各種活用可能な支援制度に係る情報提供 				
更衣室の改修	西本洞コースの開設・運営				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会： 改修の実施 ●香美市、県（地域本部等）： 補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会： 西本洞コースの運営（ガイドの人材育成等） ●(株)龍河洞みらい： 西本洞コースを素材とした広報・セールスの実施 				
◆広報、PR	インバウンドを見据えたセールス、ターゲティングとポジショニング分析を踏まえたPRの実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：台湾を中心とする東アジアへのセールスの強化 ●(株)龍河洞みらい： 新聞やテレビ、雑誌、地元情報誌等への情報発信、県内や中四国、近畿圏を中心としたPRの実施 					
◆集客イベント の開催	シーズンイベント（夏休み、ハロウィン、クリスマス等）、夜間営業の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(株)龍河洞みらい：イベントの企画・運営、集客に向けた広報・セールスの強化 					

AP名 (実施地域)	No.25 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、◎(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市
APへの位置づけ	H29.9月
事業概要	H29.11月に龍河洞エリア活性化協議会が策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に基づき、関係機関が連携し、エリア全体の誘客促進に向けた取り組みを推進していく。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
観光客入込客数※	12.6万人 (R元)	7.6万人	7.7万人	15.0万人

※1～12月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆「龍河洞エリア活性化協議会」の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化協議会の開催 R2:4回 <p>◆基本計画の推進及び施設等の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光拠点等整備事業費補助金の活用による施設整備(H30～R2) 龍河洞洞内コンテンツ(洞内演出照明、音響、プロジェクションマッピング)の整備 龍河洞エリア動線・景観等整備計画の策定(H30) 龍河洞駐車場等整備の設計(R元) 駐車場等整備工事、更衣室改修工事等の実施(R2) 「新・龍河洞」グランドオープン(R元.7月) 「西本洞/水の洞窟」オープン(R3.4月) 観光施設等緊急整備事業補助金の活用による施設整備(R2～3) デジタルルーム等の設計、老朽化施設解体工事・雨よけ施設工事等の実施(R3) <p>◆広報、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施 教育旅行説明会等への参加 新聞、テレビ、雑誌、地元情報誌を活用した情報発信 	<p>◆集客イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> シーズンイベントの開催(R3:9回) 既存イベント(龍河洞ナイト、ハロウィンイベント等)の磨き上げ <p><主な成果></p> <p>◆観光客入込数</p> <p>R3:7.7万人</p> <ul style="list-style-type: none"> うち冒険コース体験者数 R2:1,629人→R3:1,781人 うち西本洞コース体験者数 (開洞期間:4/29～10/31) R3:144人 <p>◆集客イベントの開催を通じた入込数の確保 夜間営業の入洞者数(内数) R2:2,650人→R3:1,316人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画に基づく施設整備の実施 さらなる入洞者数の増に向けた集客イベント、セールス、広報・PRの実施・強化 文化財(史跡・天然記念物)としての龍河洞の保全・活用

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆ 基本計画の推進及び施設等の改修	龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画の精査及び具体化				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や整備の優先順位、費用対効果について協議 ● (公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：実施主体、運営体制について精査及び実現可能性の検討 ● 香美市、県（観光振興部、地域本部等）：予算化に向けた課題整理、計画の進捗管理 				
	駐車場動線整理 通路安全対策	エリア内の他の施設の改修			
	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会：改修の実施 ● 香美市、県（地域本部等）：補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会：予算化をもとにした改修の実施 ● 龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や改修の必要性、優先順位について協議 ● 香美市、県（地域本部等）：補助金の予算化及び各種活用可能な支援制度に係る情報提供 			
	老朽化した施設の除却 除却後の活用計画の策定	除却後のスペースの有効活用			
<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：除却後の活用計画及び事業主体の検討 香美市予算化後の除却の実施 ● 香美市：除却費等を予算化 ● 県（地域本部等）：除却に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：予算化をもとにした施設整備及び運営 ● 香美市、県(地域本部等)：補助金の予算化の検討 各種活用可能な支援制度に係る情報提供 				
更衣室の改修	西本洞コースの開設・運営				
<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会：改修の実施 ● 香美市、県（地域本部等）：補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会：西本洞コースの運営（ガイドの人材育成等） ● (株)龍河洞みらい：西本洞コースを素材とした広報・セールスの実施 				
◆ 広報、PR	インバウンドを見据えたセールス、ターゲティングとポジショニング分析を踏まえた PR の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：台湾を中心とする東アジアへのセールスの強化 ● (株)龍河洞みらい：新聞やテレビ、雑誌、地元情報誌等への情報発信、県内や中四国、近畿圏を中心とした PR の実施 					
◆ 集客イベントの開催	シーズンイベント（夏休み、ハロウィン、クリスマス等）、夜間営業の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ● (株)龍河洞みらい：イベントの企画・運営、集客に向けた広報・セールスの強化 					